



ようこそ相鐵へ。

新しい仲間を紹介します。

①自己紹介 ②先輩へのメッセージ ③今後の抱負 ④趣味 ⑤特技 ⑥初任給の使いみち

あおき れいや 青木零也 製造部



①中高合わせ6年間柔道部でした。ケガの影響で左腕の筋力が弱いですが迷惑にならない様、頑張ります! ②仕事や社会生活のこと、ピンバシ教えて下さい。③1年間無欠勤。目の前の仕事に全力で取り組みたいです。④アコースティックギター・風景撮影 ⑤柔道技の内股 ⑥親への誕生日プレゼント。ギターを買う。

たどころ ちあき 田所千明 総務部



①前職で設計業務に携わっていたので、その経験を活かせるよう頑張っていきたいと思います。②顔と名前を早く覚えて下さい。③皆さんの足を引っばらないようになりたい。④友人と遊ぶ ⑤3D CAD ⑥貯金

すみや みつき 住谷充紀 製造部



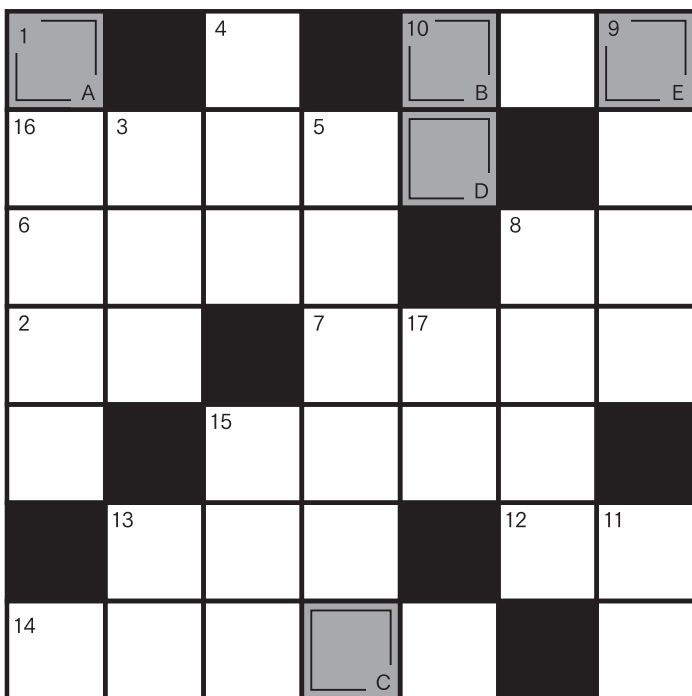
①体の線が細く、頼りなく見えるかもしれませんが、学校で学んだ知識を活かし、仕事に臨みたいと思います。②至らない所があると思いますが、ご指導お願いします。③力や技術をつけ、会社で通用する人間になりたいです。④読書 ⑤ものづくり全般 ⑥親・祖父母へのプレゼント

～相鐵ってどんなところ?～

設立
1964年3月19日(創業51年目)
第1～第7スタジオの7拠点で営業中
社員数
44名(男性32名 女性12名)※2015年3月時点
事業内容
各種金属(鋼板・形鋼・ステンレス・アルミ等)加工・販売

懸賞鐵クロスワードパズル

正解者の中から抽選で人気スイーツを5名様にプレゼント! LET'S TRY!



ヨコのヒント

- ② 英語で野球チームの名前になっている動物
- ③ パリーグに属しているよ
- ④ 女の子を元気にさせる言葉
- ⑤ 企業拡大のために〇〇〇〇する
- ⑥ ⑩をやると出てくる
- ⑦ 軟式と硬式がある
- ⑧ 自分探しの〇〇〇に出る
- ⑨ 生花の反対は?
- ⑩ GW中に行った人も多いのでは?
- ⑪ 住居を建てるための土地
- ⑫ 農地を〇〇〇〇する
- ⑬ おっちょこちょいの人に多い
- ⑭ 丁寧に言うと「申し遅れました…」

タテのヒント

- ① 夏の浜辺で目隠ししながら?
- ② 小骨が多い
- ③ 秋から冬にかけて旬な魚
- ④ アロハでこんにちは
- ⑤ イルカショーを見に行こう!
- ⑥ コンビ派オオのパートナー
- ⑦ 花言葉はうめばれ「自己愛」
- ⑧ 恥ずかしい様子
- ⑨ この呼び方の
- ⑩ 果物と楽器があるよ
- ⑪ 星になった少年は〇〇使い
- ⑫ 水田にイネの苗を植えること
- ⑬ 鬼は外! 福は〇〇!

まるでガス切断したリングのような
バームクーヘンが当たる!



とろなまチョコ

解答欄

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

A~Eに当てはめて言葉を完成させよう!! ご応募は下記方法にて受け付けます。

応募締切日: 6/30(火)

解答は住所、電話番号、お名前をご記入の上こちらまでお願いします。(担当・平山)

MAIL sayuri.hirayama@soutetsu.jp (24時間受付) FAX 0294-33-2632 (24時間受付) TEL 0294-33-2005 (午前8:00~午後5:00 土日・祝日を除く)

1
週
間
限
定
レ
ー
ザ
ー
切
断
5%
割
引

※キャンペーン期間 2015/6/15(月)~6/19(金)
※詳しくはホームページをご覧ください。

ちょっとひと息 編集後記

本紙編集を担当しました、丸藤です。以後、よろしくお願ひします。なぜ私がこれを書いているのか、簡単に説明します。1月下旬、社長からの突然のメール。「丸藤さん、編集長に任命します。メールを開いて数秒フリーズ。「社長、何を言っているの?」、正直な感想でした。しかし、そこは社長命令。断る訳にもいかず、心を決めました。やるからには良いものしよう、と。

それから4ヶ月。今こうしてパソコンの前で、言葉たちとらめっこをしている自分があります。先日、「村上龍」の小説を読んだばかり。もつとすらすらと言葉が出てくると思っていたのですが…、さっぱりでした。

これにめげず、次号に向けて頑張っていきたいと思いますので、是非お読み下さいませ。



【相鐵新聞】No.001-2015
2015年6月発行(年4回発行)
編集長 丸藤 秀則
相鐵株式会社
〒316-0004
茨城県日立市東多額町5-19-10
編集部 TEL 0294-33-2005
Fax 0294-33-2632
URL www.soutetsu.jp

“ものづくり”だけで終わらせない。まったく新しい社内報じゃない報。ここに誕生!



相鐵アワード2015、飛躍する次世代の力

3月20日午後2時、日立市幸町のホテルで「相鐵アワード2015」授賞式が開催された。今年で2回目となるこの授賞式は昨年度、社内で最も自覚ましい活躍をした社員に対し、社員全員でお祝いしようというものである。受賞者には、自身を3Dプリンターで模ったフィギアと金一封が贈られる。本紙一面に笑顔で写る人物こそ、今年の受賞者である、製造部の西山伴。彼は第3スタジオでレーザー加工機を操る。三村社長は、

受賞理由をこう語る。「この1年で、彼の扱った鉄の量は約2倍になりました。又、人間的にも成長したと感じます。入社間もなくケガをし、1ヶ月間何も出来なかった。とても悔しかったと思います。その出来事があったからこそ、今の彼がある。本誌におめでとう。」プライベートでは、今年初めに結婚。公私にわたり、充実した一年になりそうである。

相鐵を支えてきた、 熱い4人の「サムライ」たち



苦勞を知る。だからこそ、誇りと相鐵魂を持ち続けていたい

相鐵アワード2015の目玉企画の一つでもあった、4人の男達のトークショー。普段、彼らの持ち場はそれぞれ違う。この4人が一緒にの空間にいるのは、あまり目にすることはない。その分、新鮮に映った。

彼らがこの相鐵で過ごしてきた月日を想像してみる。20年、30年と走り続けることの難しさ。現在の規模に至るまでの色々な困難や変化があったのは、容易に想像がつく。そんな彼らの特集

できた今回の企画は意味深いものであると思う。

以前、工場長が私にこう言ったのを憶えている。「最近入ってきた社員は、今のこの相鐵が当たり前なんだな。本当に苦勞した時期を知らないんだよ」たしかに、若い社員が増え昔の時代を知る者は少ない。今回のインタビューで初めて知ったこともたくさんあった。だからこそ、4人には一日でも長く体が続く限り、この相鐵で共に汗をかき働いてもらいたいと心から願うのである。

トークショー終了後、4人が壇上から降りようとした時、全員に向け、工場長がマイクを握りしゃべり始めた。「今、こうして自分達4人が仕事出来ているのも、みんなの助けがあるからです。ありがとう。本当にありがとう。それだけは言わせて下さい」

工場長からみんなへの感謝の言葉。また一つ、相鐵の絆が強くなった瞬間だったのではないかな。



渡辺 茂

製造部
第6スタジアム バンドソー担当

相鐵で最高齢。笑顔が印象的な渡辺さん。16年前相鐵に入社。決めては残業公休出勤がなかったからだとか。その時期は辞める人も多く、細かな引継ぎもなし。現場で1人、機械と格闘する日々。操作方法や仕事のやりかたはほぼ独学で覚えたという。「毎日が必死だった」これまで相鐵を支えてきた男の言葉は重い。しかし今では、若い社員も増え、体への負担も軽減したという。そんな渡辺さんも、会社を一步出ればおじいちゃん顔に。「孫と遊ぶのは疲れるよ。でも可愛いからね」その疲れも、月3回は行くという健康センターでリフレッシュしている。最後に、仕事への想いを格言で。

「仕事が好き。そう思えたのは、相鐵が初めてだった。」



大塚 正弘

製造部
第1スタジアム シャーリング担当

色付きメガネが“ちょい悪おやじ”を思わせる大塚さん。シャーリング切断機を操って22年。現在の第1スタジアムで仕事に打ち込んできた。「昔の方が仕事量が多かったと思うよ」と語る。今のように、レーザー切断機などない時代。鉄を切るにはシャーリングしかなかった。だが、今も昔も変わらないことがある。「切って、重ねて、梱包する」シンプルだが、だからこそ奥が深いかもしれない。大塚さんがこれまで、仕事を続けてこられた理由を聞いた。「やっぱり人間関係だね。それと相鐵のいいところは、今も昔も社長のやさしさかな」時が移ろい新しい時代がきてても、変わらないものがあると教えられた気がする。最後に、仕事への想いを格言で。

「毎日楽しく仕事ができる。それが全て。」



藤咲 朗斉

製造部 / 取締役工場長
第2スタジアム レーザー切断担当

現場の親方。泣く子も黙る工場長である。現場一筋22年。相鐵入社時の印象を「汚い・きつい・薄給の3K」と評した。そんな状態から、今の相鐵を作りあげてきた。先輩とぶつかった。当時の社長ともぶつかった。それでも前に進んでこられたバイタリティはどこからくるのか。「少しでも働きやすい職場作りを考えていてね。何故かって…自分のためにね」工場長は言う。「相鐵はまだまだ伸びると思うよ。この勢いを止めない限り。止まったらおしまいだから」その思いは昔から今も現在進行形である。下を見ず、真っ直ぐ前を見て相手にぶつかっていったからこそ、今の相鐵があるのだと感じさせられた。最後に、仕事への想いを格言で。

「出来ないとは言いたくない。絶対に。」



森井 弘志

製造部
第5スタジアム ガス切断担当

33年前の7月の暑い日、相鐵に入社。プレスを1年、その後ガス切断一筋で仕事に向き合ってきた。森井さんは耳が不自由である。しかし、そんなハンデなどみじんも感じさせないほど、熱心に仕事に取り組む姿があった。会長夫人は森井さんを「会社で一番の技術者です」と話し、胸をはる。「言葉が通じない不便さは感じたことがない」と本人。負けず嫌いな性格で、工場長ともぶつかったエピソードもあるという。そんな森井さん、体が続く限り現役で仕事をしたいと意欲をみせる。今日も現場で汗を流し、ガスの火に向かっている。最後に、仕事への想いを格言で。

「見せて、見せて、見せる。それが、仕事を教えるということ。」



西山伴、相鐵アワード 受賞の想いを語る

「自分でいいのかわからないのか」 葛藤のなかで今感じること

今年1月、成人式を迎えたばかりの西山伴。ヘルメットを目深に被り、黙々と仕事をこなすその姿は二十歳とは思えぬ堂々としたものである。そんな彼が入社二年目に手にした今回の「相鐵アワード」。喜びもひとしおだろう。受賞の裏にある秘めた思いや、受賞後の心境などを語ってもらった。(※インタビューはイ、西山は西と表記。)

イ：受賞おめでとうございます。今の率直な感想を聞かせて下さい。

西：うれしいの一言ですね。正直自分がこの賞を貰えるとは思っていませんでした。どこか他人事のような。今でも本当に自分が受賞しているのか、と思ってます。

イ：一昨年と比べ、扱った鉄の重量が約2倍になっています。この一年で、仕事のスピードとスキルがUPしたのでは？

西：自分自身、意識したことはないですね。ただ心がけているのは、設計部からまわってきた作業伝票を一枚でも多く、早く終わらせようとしていることですかね。

イ：受賞スピーチで、「先輩・工場長をいつか追い越します！」と宣言してましたが、現時点で自分に足りないもの・劣っている点など具体的に聞かせて下さい。

西：これからの期待も含めての受賞だと思えます。まだまだ先輩たちの技術にかなわないで

すし、先を考えた仕事・段取りが自分としては劣っていると感じます。

イ：式の後半、三村社長から「昨日の自分に勝て！」という言葉がありました。去年以上の活躍が期待されますが、今後の抱負などを聞かせて下さい。

西：シンプルなんですけど、「がむしゃら」に仕事をするだけ。それだけだと思います。自ずと結果はついてくると思ってます。

イ：では、最後に。もちろん2年連続の受賞を狙ってますか？

西：答えは、はいです。相鐵で働く以上、今年の目標は連覇です。

イ：ありがとうございます。

受賞から1週間。そこには、工場長や先輩と一緒に汗を流し仕事をする姿があった。今までと変わらず、今日も「がむしゃら」に“鐵”と向き合う彼の姿があった。



社長 × インタビュー Vol.1

川崎溶缶 川崎準一社長が 現在の相鐵を斬る！

今回の「相鐵アワード2015」では、社外からゲストをお招きし、インタビュー形式のトークショーを企画。栄えある第1回目のゲストは、株式会社川崎溶缶代表取締役社長 川崎準一様。相鐵のことを、社員の前で語って頂いた。

この日立地区に数社ある鋼材加工業者。その企業と比べ、相鐵の強みを聞いた。「フットワークが軽い。これは強みだと思いますよ。それと何と言っても、事務員さんの対応が気持ちいい。いつ行っても『笑顔』。これは、どこにも負けないんじゃないかな」

事務員の笑顔を褒めていた川崎社長。そんな社長の掲げる経営理念も『笑顔』なのだ。その思いとは、「挨拶や笑顔が一番大切だと思います。工場の雰囲気、納品に来られた方への対応など、みんなが笑顔で、元氣良く挨拶出来ていれば、みんなが『ハッピー』だと感じます」以前、工場へお伺いした時も、テーブルの片隅に「みんなを幸せにするよ。君の笑顔は」の文言が。普段忘れがちになることだが、一番大切な

ことなのかもしれない。

一年位前に、主力工場を移転。積極的に動いた背景・そして、その結果よかったこととは？

「売上げが増えました。あとは、私は運がいいのかもしれない。工場が大きくなったことで、仕事が舞い込んできたみたい。今では、もっと広い場所へ移りたいくらいです(笑)」

積極的に前へ進んでいる川崎溶缶。今後の取り組みなどを聞いた。「日立地区・茨城県も大事だが、関東圏に出て行きたい。積極的な営業活動をするによって、自ずと結果はついてくると思っています。今は種蒔きの時期。この先、大きな花が咲いてくれるといいな」

最後に相鐵に期待することを聞いた。「時代の変化の中で、流れはレーザー切断機から3Dレーザーへ。うちからの依頼も増えていくと思うので、相鐵にも是非導入して欲しいと思う。仕事が受注できなかったら、その時は…ごめんさい(笑)」



川崎準一代表取締役 プロフィール
1975年3月1日、茨城県日立市に生まれる。茨城県日立立産業技術専門学院卒業後、1992年4月に(株)川崎溶缶に入社。入社後は溶接現場を担当。その後、2008年9月に父である現会長の後を継ぎ、代表取締役に就任。現在に至る。



わさび茶漬け

材料
ご飯
濃い緑茶(温かいもの)
わさび
塩か醤油味の御煎餅(適量)
塩少々
海苔(お好みで)

作り方
① 炊いたご飯を、お湯でさっと洗う(ご飯のぬめりをとるのがポイント)
② ①のご飯をお茶碗にかけ、その上から緑茶をそそぐ
③ わさび・塩をいれる
④ 煎餅をくだき、ごはんのにせる(お好みで海苔も)

これで完成です。ご家庭ですぐできる、工場長おすすめの一品。熱いうちに、豪快にかっこむ！これが美味しく食べるコツだそうです。でも皆さん、やけどには注意して下さいね。

工場長の鐵レシビ